

海賊対処行動派遣部隊が無事任務を終え帰港する

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第33次隊）帰国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第33次派遣水上部隊が、本年3月16日に日本を発って以来、約6か月半ぶりとなる2019年10月5日に舞鶴基地（京都府）に帰港した。

同部隊は、護衛艦「あさぎり」の波江野裕一艦長が指揮を執り、隊員約190名（他海上保安官8名同乗）が乗船し、アデン湾にて10回に亘り12隻の護衛活動を実施した。

式典では、防衛大臣訓辞を大島孝二舞鶴地方総監が、自衛艦隊司令官訓辞を石巻義康第3護衛隊群司令が代読した。

当協会からは、中島孝副会長、飯野海運荒木俊雄専務執行役員、商船三井遠藤充執行役員他6名が、国際船員労務協会からは今田俊介副会長が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、護衛艦乗員の方々のご活躍に対しあらためて感謝の意を表した。

（海務部 事務局）

帰国行事



入港した護衛艦「あさぎり」



下艦する派遣隊員



帰国報告する波江野艦長



代表を務める中島副会長



訓辞を代読する大島舞鶴地方総監



訓辞を代読する石巻第3護衛隊群司令



派遣部隊を横断幕と共に出迎える当協会関係者